

市区町村の地理的特性を表す指標 分析に用いたデータ

【地形】

- ① 人口
- ② 面積
- ③ 人口密度
- ④ 可住地人口密度
- ⑤ 可住地標高
- ⑥ 可住地傾斜度（土地の傾斜）
- ⑦ 海岸部属性（海に面しているか否か）
- ⑧ 島属性（島か否か）
- ⑨ 海域（太平洋、日本海、瀬戸内海、東シナ海、オホーツク海）

【気候】

- ① 平均気温
- ② 日照時間
- ③ 降水量
- ④ 最深積雪量

1

重回帰分析：自殺率に影響を及ぼす因子（地理的特性）

	標準化されていない係数		標準化係数	t 値	有意確率	共線性の診断
	B	標準誤差	ベータ			VIF
(定数)	197.808	10.627		18.613	.000	
可住地傾斜度	2.844	.201	.240	14.121	.000	1.288
可住地人口密度	-16.658	1.440	-.201	-11.572	.000	1.349
最深積雪量 cm	.194	.023	.173	8.526	.000	1.837
日照時間	-.028	.005	-.105	-5.265	.000	1.770
海岸部属性	-7.675	1.835	-.072	-4.182	.000	1.322

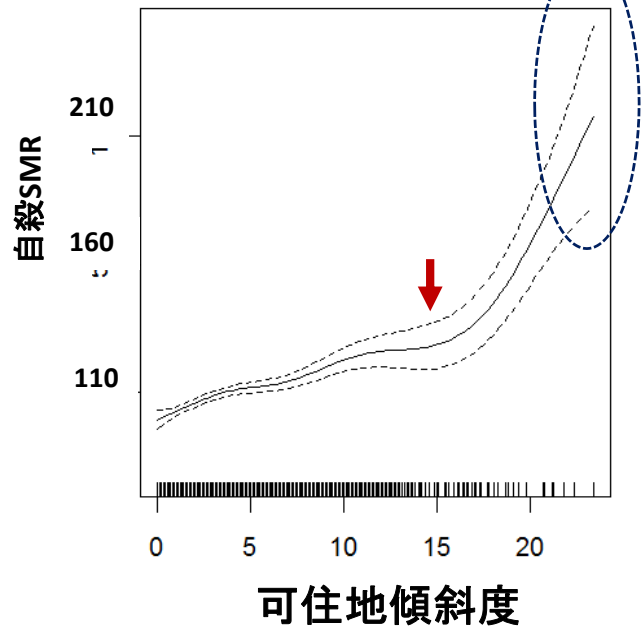
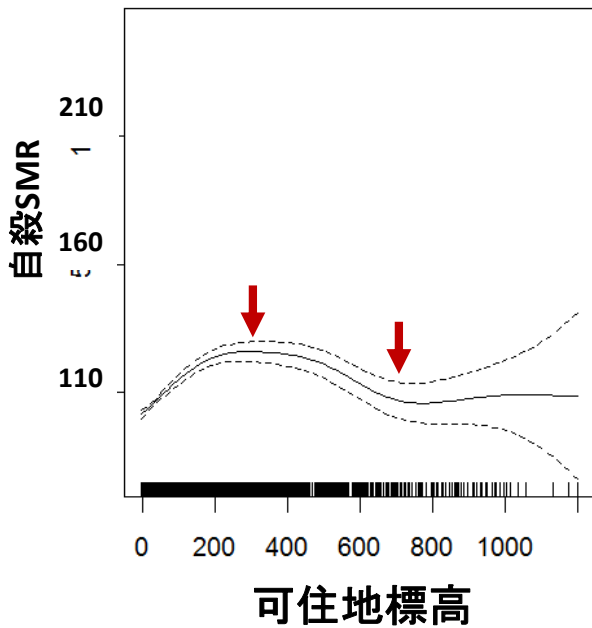
従属変数：全国市町村ごとの標準化自殺死亡比死亡比（自殺SMR）

自殺SMR標準誤差による重み付き最小2乗法 調整済みR2乗=0.256 n=3318

2

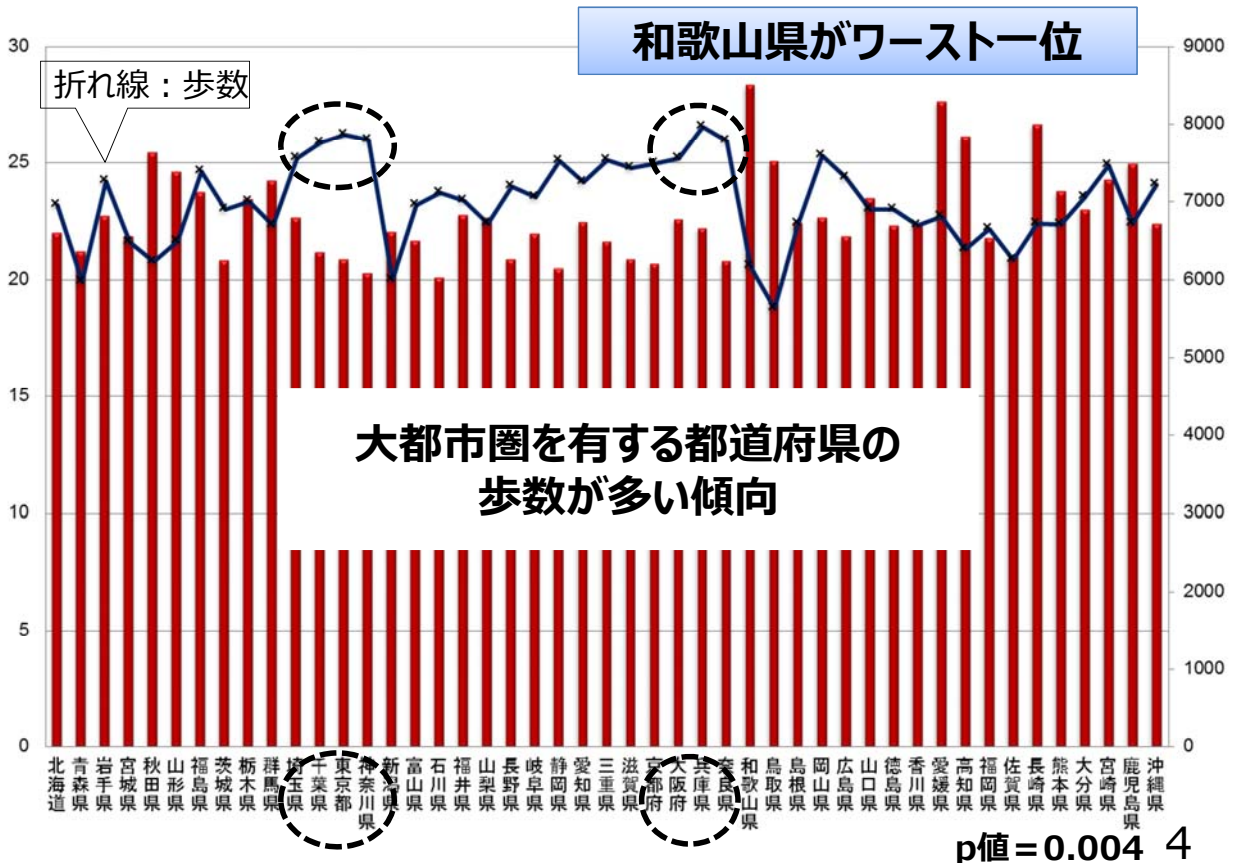
「標高」および「傾斜度」の自殺SMRに対する影響 —非線形モデルを使って—

一般化加法モデル 平滑化スプライン



切片110.8 破線は信頼区間の上限下限

都道府県別 高血圧者率と1日あたり歩数との関係



主たる移動手段は電車か車か

- 可住地面積100平方kmあたりの鉄道駅数

➤歩数との間に、有意な正の相関 (P=0.002)



- 和歌山県は 軽自動車普及率全国1位 60.8%

※全国平均32.9 大阪16.8 東京6.2%

➤歩数との間に、有意な負の相関 (p = 0.000)

➤高血圧者率との間に、有意な正の相関 (p=0.012)

重回帰分析：高血圧に影響を及ぼす因子

	標準化されていない 係数		標準化係数	t 値	有意確率	共線性の 統計量
	B	標準誤差	ベータ			許容度
食塩摂取量 (g・日)	.082	.417	.029	.196	.846	.699
飲酒 (%)	-.027	.054	-.073	-.510	.613	.739
喫煙 (%)	.036	.090	.064	.396	.694	.583
歩数 (歩・日)	-.001	.001	-.402	-1.982	.055	.372
軽自動車の普及率 (%)	-.004	.028	-.028	-.148	.883	.418
可住地標高_m	-.002	.003	-.134	-.855	.398	.623
可住地傾斜度_度	.423	.163	.407	2.590	.014	.617
特定健診受診率 (%)	-.054	.051	-.150	-1.052	.300	.747

従属変数：都道府県別高血圧者率 強制投入法 調整済みR2乗 = 0.298 n=47